

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
大事業	051	議会運営事業							
中事業	01	議会運営事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり		所管部局	議会
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進			議会事務局
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	内部管理事業		
根拠法令	有	地方自治法				
根拠例規	有	坂井市議会基本条例、坂井市議会定例会条例ほか				
関連計画・マニフル	無					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	坂井市議会の運営を適正かつ円滑に行うとともに、全国、北信越、県の市議会議長会等の交流を通して、相互連携を図る。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> 定例会、臨時会、各委員会、その他協議の場の開催及び運営を行う。 各種会議の会議録の作成を行う。 全国市議会議長会等を通じて、必要な情報の提供や収集を行うとともに、他の市議会との相互連携や情報交換を行う。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	128,893	128,515	128,597
	人件費	18,125	22,749	22,490
	総事業費	147,018	151,264	151,087
人員	正職員	2.70 人	3.20 人	3.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	2.70 人	3.20 人	3.20 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	147,018	151,264	151,087

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	議案処理件数	件	目標	100	100	100	100
			実績	106	117	103	92
		達成率(%)	106.00	117.00	103.00	92.00	
活動	指標の説明 定例会及び臨時会で処理した議案の件数						
指標	議長交際費	千円	目標	425	425	425	425
			実績	417	444	319	421
		達成率(%)	98.12	104.47	75.06	99.06	
活動	指標の説明 議長の交際費						
指標	議員報酬	千円	目標	400	400	400	400
			実績	400	400	400	400
		達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	
活動	指標の説明 議員一人当たりの月額報酬						
指標	議員定数	人	目標	26	26	26	26
			実績	26	26	26	26
		達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	
活動	指標の説明 議員定数						
指標に基づく評価		議会基本条例を基に、概ね目標を達成しており適正に議会運営を進めているが、引き続き円滑な議会運営に取り組んでいく。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	社会情勢や住民のニーズが多様化する中、議会が担うべき機能や役割を果たせるよう、適正かつ効率的な議会運営に取り組んでいく必要がある。	
これまでの見直しや改善等の実績	議会運営が滞るこのとないよう、協議会等を開催し、また、理事者側と連絡調整を行いスムーズな議会運営に努めた。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	
目標年度	平成29年度		目標年度	
方向性の説明				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
大	事	業	051	議会運営事業					
中	事	業	06	議会事務局事業					

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	議会
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		議会事務局
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	内部管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市議会事務局設置条例、坂井市議会事務局処務規定ほか		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	北信越、県等の事務局職員研修会への参加などを通して、事務効率の向上に努め、議会・議員活動を支援する。
実方手法等	<ul style="list-style-type: none"> 議員の報酬、費用弁償の支出、議員年金等の手続きを行う。 文書管理、予算執行、各種調査、議場管理等の庶務を行う。 北信越、県等の事務局職員研修会への参加を通じて、情報収集を行うとともに専門知識を深める。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	220	214	247
	人件費	8,727	6,043	9,136
	総事業費	8,947	6,257	9,383
人員	正職員	1.30 人	0.85 人	1.30 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.30 人	0.85 人	1.30 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	8,947	6,257	9,383

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	職員研修受講者数	人	目標	3	3	3	3
			実績	3	3	3	3
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明		事務局員研修に参加した職員の延べ人数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		積極的に事務局職員対象の研修会に参加し、議会活動の適正かつ効率的なサポートができるように、職員の資質向上に努める。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	議会改革により職員の事務量は増加傾向にあるが、議会活動の適正かつ効率的なサポートができるような体制が必要となる。引き続き事務局職員の資質向上に努めたい。	
これまでの見直しや改善等の実績	北信越や県の事務局研修に積極的に参加して、他自治体の情報を収集し、意見交換を行っている。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	
目標年度	平成29年度		目標年度	
方向性の説明				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
大事業	101	議会活動事業							
中事業	01	議会調査活動事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	議会
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		議会事務局
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市議会政務活動調査費の交付に関する条例ほか			
関連計画・マニュアル	無	政務活動費マニュアル			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	政務活動費での調査、研究活動及び各委員会の視察研修による先進事例の調査・研究を通して、行政課題（懸案事項）等への知識・識見を高めます。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> 政務活動費として、議員一人あたり月額50,000円を会派に支給する。 政務活動費マニュアルに基づき、適正な運用、支出を確認する。 委員会所管事業について、常任委員会は議員一人あたり80,000円、特別委員会は議員一人あたり50,000円（隔年）を支給する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	14,089	14,196	13,594
	人件費	5,035	5,687	4,217
	総事業費	19,124	19,883	17,811
人員	正職員	0.75 人	0.80 人	0.60 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.75 人	0.80 人	0.60 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	19,124	19,883	17,811

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	調査箇所数	件	目標	15	15	15	15
			実績	12	10	10	10
		達成率(%)	80.00	66.67	66.67	66.67	
指標の説明		視察先（自治体等）の箇所数					
活動	政務活動費交付件数	件	目標	6	6	5	5
			実績	6	6	7	7
		達成率(%)	100.00	100.00	140.00	140.00	
指標の説明		政務活動費を交付している会派の件数					
活動	一人会派	件	目標	0	0	0	0
			実績	2	2	2	2
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明		会派人数が一人の会派数					
活動	一人あたりの政務活動費（月額）	円	目標	35,000	35,000	35,000	35,000
			実績	36,955	36,020	36,765	34,647
		達成率(%)	105.59	102.91	105.04	98.99	
指標の説明		政務活動費の実績額					
指標に基づく評価	政務活動費マニュアルの用途基準に基づき適正に支出されており、引き続き内容を確認するとともに、透明性の確保に努めたい。また、委員会および会派視察後には、全員協議会等の会議の場において視察報告を実施し、調査研究等に生かせるよう取り組んでいく。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	市民の批判や疑念を招くことのないように、運用の厳格化を図るとともに、用途の透明性確保に努める必要がある。	
これまでの見直しや改善等の実績	平成26年度に政務活動費マニュアルを策定し、適正な制度運用に取り組んできた。疑義が生じた内容については、会派代表者会議、議会運営委員会等で協議を実施し、マニュアルの改正を行っている。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	
目標年度	平成29年度		目標年度	
方向性の説明				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
大事業	101	議会活動事業							
中事業	06	議会広報事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	議会
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		議会事務局
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市議会広報発行規程			
関連計画・マニフェスト	有	議会報告会開催要領			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	議会広報「市議会だより」、CATVでの「定例会本会議の録画放送」および「議会報告会」により、議会活動の成果、また議会が取り組む課題等を市民に情報提供します。
実方手法等	<ul style="list-style-type: none"> • CATVで、定例会の本会議録画放送を実施する。 • 議会広報「市議会だより」を、年4回発行する。 • 定例会終了後に、コミセンを会場とした議会報告会を実施し、定例会報告、意見交換を行う。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	6,670	9,962	8,083
	人件費	8,391	8,175	4,217
	総事業費	15,061	18,137	12,300
人員	正職員	1.25 人	1.15 人	0.60 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.25 人	1.15 人	0.60 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	15,061	18,137	12,300

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	議会広報発行回数	回	目標	4	4	4	4
			実績	4	4	4	4
		達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	
指標の説明		「市議会だより」の発行回数					
指標	議会録画放送回数	回	目標	4	4	4	4
			実績	4	4	4	4
		達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	
指標の説明		本会議（一般質問）の放送回数					
成果	議会報告会開催回数	回	目標	4	4	4	4
			実績	4	4	4	4
		達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	
指標の説明		議会報告会を開催した回数					
指標			目標				
			実績				
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明							
指標に基づく評価		広報紙、CATVなどの様々な媒体を通して、市民に対して、議会活動を迅速にわかりやすい形で広く市内外に情報発信することにより、議会や議員活動に対する理解や関心を高めるように取り組んでいく。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	議会広報は、発行ごとに広報編集委員会を開催し、紙面の充実を図っている。議会放送については、市HPなどでより多くの市民に情報提供できるように、検討していく必要がある。		
これまでの見直しや改善等の実績	CATV放送は、より見やすくなるよう編集（放送時間短縮、標題等を文字で表示）した。広報紙については、外部の広報コンサルタントに議会広報紙面を評価してもらい、紙面づくりの技術向上に取り組んだ。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	
目標年度	平成29年度		目標年度	
方向性の説明				